

## ～平成19年全国物価統計調査～

### はじめに

全国物価統計調査は、国民の生活において重要な消費支出の対象となる商品の販売価格及びサービス料金並びにこれらを取り扱う店舗の業態や経営形態など価格決定に関する様々な要素を幅広く調査し、物価の店舗間格差、銘柄間格差、地域間格差など価格差の実態を明らかにし、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とするものです。

ここでは、全国結果(速報)の地域差指数編についてご紹介します。

### 調査の概要

#### 1 調査の期日

平成19年11月21日現在

#### 2 調査の対象

人口規模	抽出数
人口10万人以上の市	すべての市(263市)
人口10万人未満の市町村	410市町村を抽出
合計	673市町村

鳥取県では、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市の4市と、八頭町、琴浦町の2町が抽出されました。

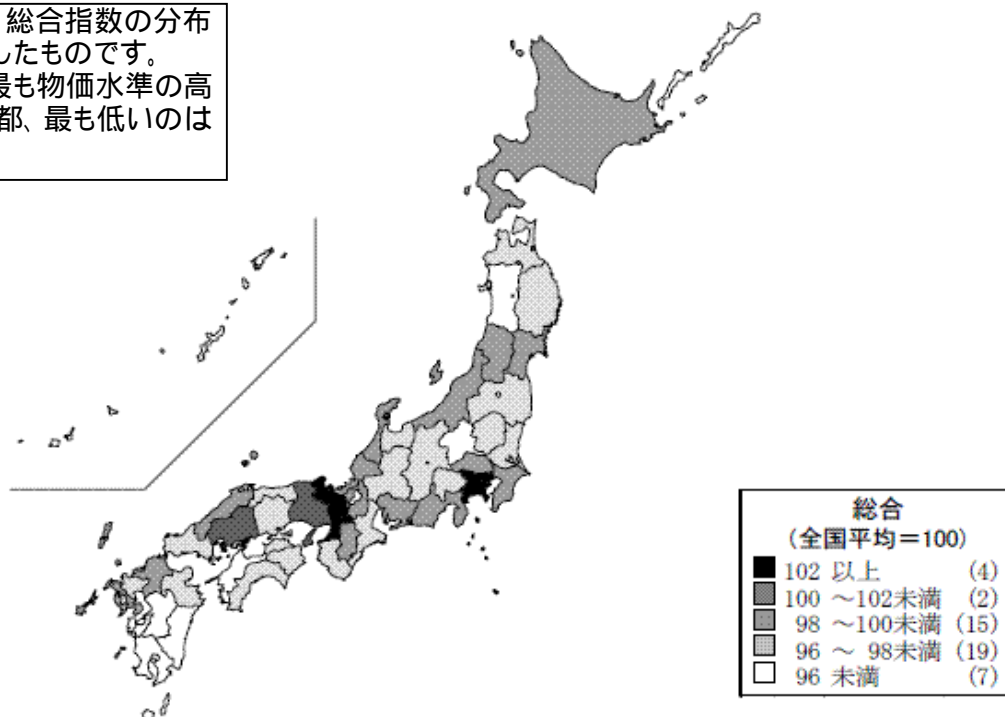
#### 3 調査品目

国民の消費生活において重要な商品及びサービスの中から180品目を選定し、さらに調査する商品の詳細を商標、規格等により指定しました。

### 都道府県の物価水準について

図 都道府県別総合指数

右の図は、総合指数の分布を地図に表したものです。「総合」で最も物価水準の高いのは東京都、最も低いのは沖縄県です。



平成19年全国物価統計調査 全国物価地域差指数編 結果速報より

大分類ごとに物価水準の最も高い都道府県と最も低い都道府県の差を見ると、「住居」が80.0ポイントと最も大きく、次いで「被服及び履物」、「教育」で差が大きくなっています。最も差が小さいのは「保健医療」の4.7ポイントで、次いで「教養娯楽」、「食料」となっています。

・都道府県別に見た大分類別指数について、ランキングにより上位、下位を抽出すると、次の表のようになりました。

表 大分類別指数の都道府県ランキング

(全国平均 = 100)

	低価格			高価格					
	1位	2位	3位			45位	46位	47位	
総合	沖縄県 91.9	群馬県 94.7	宮崎県 94.9	~	鳥取県 96.8 (17位)	~	京都府 102.8	神奈川県 104.8	東京都 108.5
食料	岩手県 95.1	佐賀県 95.2	徳島県 95.4	~	鳥取県 99.0 (27位)	~	島根県 103.7	京都府 103.8	東京都 106.4
住居	沖縄県 66.7	愛媛県 70.3	高知県 77.2	~	鳥取県 85.6 (16位)	~	埼玉県 109.4	神奈川県 129.5	東京都 146.7
光熱・水道	山梨県 90.0	滋賀県 92.6	大阪府 93.9	~	鳥取県 102.5 (25位)	~	山形県 112.3	北海道 112.4	青森県 113.1
家具・家事用品	群馬県 89.2	山梨県 89.3	福井県 90.5	~	鳥取県 93.8 (8位)	~	東京都 104.8	京都府 105.8	長崎県 108.4
被服及び履物	沖縄県 66.7	茨城県 81.9	岩手県 83.3	~	鳥取県 92.6 (15位)	~	神奈川県 110.3	岡山県 111.4	東京都 117.8
保健医療	福井県 97.7	鹿児島県 98.2	秋田県 98.3	~	鳥取県 100.7 (39位)	~	茨城県 101.6	島根県 101.8	長崎県 102.4
交通・通信	沖縄県 95.0	群馬県 95.7	宮城県 95.9	~	鳥取県 97.8 (19位)	~	大阪府 102.9	神奈川県 104.0	東京都 107.4
教育	富山県 84.8	島根県 84.8 (同率1位)	青森県 86.0	~	鳥取県 89.0 (9位)	~	神奈川県 111.4	京都府 112.0	東京都 112.5
教養娯楽	沖縄県 94.3	福島県 94.4	鹿児島県 94.9	~	鳥取県 97.3 (16位)	~	神奈川県 102.3	京都府 102.5	東京都 105.5
諸雑費	岩手県 86.8	沖縄県 87.5	秋田県 88.0	~	鳥取県 95.9 (13位)	~	岡山県 104.4	愛知県 104.5	東京都 105.3